

令和5年度下京区地域保健推進協議会 摘録

日 時 令和5年10月30日（月） 午後2時～午後3時30分

場 所 下京区役所 4階 第1会議室

出席者 委 員 13名（欠席4名）

事務局 9名

傍聴者 0名

1 開会挨拶 中西 下京保健福祉センター長 挨拶

- 事務局から本日の出席人数について報告し、出席人数が過半数を超えており、会議が成立していることを確認

2 議事

- 報告（1）令和4年度下京区役所保健福祉センター事業実績報告

（2）令和4年度京都市保健所実施事業（下京区分）事業実績報告

- ⇒ 事務局 荒賀健康長寿推進担当課長、廣野障害保健福祉課長、坂下子どもはぐくみ課長から資料説明（資料1-1、2）

- 参考 令和5年度京都市保健所運営方針

- ⇒ 事務局 桂川健康長寿推進課長から資料説明（資料2）

- 議題（1）下京区民の健康課題及び令和5年度健康づくり基本方針について

- ⇒ 事務局 荒賀健康長寿推進担当課長から資料説明（資料3）

- 議題（2）意見交換

- ⇒ 参加委員より、意見交換。

委員：高齢者の孤立が増えていることは、ケアマネージャーからもよく話を聞く。親族との連絡もつきにくく、在宅の治療方針にも苦慮することがある。新型コロナウイルス感染症の期間もあって、より一層高齢者の孤立が増えている印象がある。

委員：健康診断の受診率が低いという説明があったが、自分自身働いていたときに忙しかったがゆえに3年間健康診断を受診しておらず、3年ぶりに受診したときにポリープができていたことがわかり、20日間入院した経験がある。それ以降、健康診断は毎年必ず受診すると決めている。また、ポリープができやすい体質であることも医師から指摘され、健診の大切さを実感している。

委員：下京区民の健康事情につき、市と比較し数字の良くないことを区民に伝えられる方法があればいいと思った。

委員：高齢者の孤立について、シルバークラブでの活動になるが、加入されている70歳以

上約1,200名には、誕生月に粗菓の配付で健康状態と安否確認を行っている。また、80歳以上には年賀状を送付している。加入していない高齢者については団体では把握できていない現状があるが、毎月の歩こう会で自宅から出たくない方についても参加を促している。

委員：ひきこもりの方がいるが、なかなか解決が難しいようで、専門家を紹介いただけるのか。

(事務局) 本日ご紹介した「下京こころのふれあいマップ」14ページに京都市社会福祉協議会が運営している窓口を紹介している。また、保健福祉センターでも、ひきこもり相談に係長職を1名配置しており、様々な相談機関と連携させていただいている。まずは状況を伺いながら、相談を進めていくので、また御相談いただきたい。

委員：新型コロナウイルス感染症の3年間は大変影響が大きく、手も足もでなかった。

自身の学区は伝統産業の盛んな地域だが、衰退を感じ、非常に残念だ。

委員：統合して下京中学校が創立して17年になるが、生徒数は500名前後であり変わっていない。しかし、本日の出生率低下の話聞いて、6年後くらいには影響するのだろうかと思った。また、学校内のアンケートでは、朝食をとっている子がほとんどで、安定した家庭環境であることも伺えている。また、新型コロナウイルス感染症の期間については、子どもの体力に影響していると感じている。こうしたことから、学校としても、健康や食育に関することをしっかり教育していきたい。

委員代理：本日の議題とは少し離れるが、昨日までで、市内での火災が180件あり、昨年の同時期と比較して29件も増えている。また9名が死亡し、こちらも昨年の同時期より7名多い。すべて高齢者である。これから空気も乾燥するので、火の元には十分気を付けていただきたい。

委員：警察としても精神的に不安定な方を適切な医療につなげて安全安心なまちづくりにつなげていきたい。今後とも関係機関と緊密に連携をとっていきたい。

委員：救急患者の状況からも、90歳や100歳を超える入院患者が多く、退院もなかなか難しいことが多い。

本日の説明の中で、下京区は生産年齢人口が高いということは、就労している人が多いということであるが、健康診断の受診率が低いということはどういうことが原因だろうか、また、今後受診されていない人に対してどのように呼びかけていくのか。どのようにして病気の早期発見、治療につなげていくのか。健康寿命と平均寿命の差に驚いた。高齢者の方への運動やフレイルのPRが重要になると感じた。病院としても看護師としても関わ

りをしっかり持ちたい。

委員：東山区で妊婦、赤ちゃん訪問を担当している。下京区もだが、東山区も出生率が低い。下京区と東山区で連携して出生率を向上できたら良いと思う。

また、助産師会では地域で性教育から子育て、女性、家庭の悩みなど幅広く対応しているので、頼っていただきたい。

委員：薬のところで言うと、咳止めが手に入らない状況。何件か薬局を回ってやっと手に入ることもあるようだが、薬剤師会としては、そのようなことがないように努めていきたい。また、訪問時によく聞く話が、買い物をする場所がないということ。古くからあったスーパーの閉店もあり、高齢者の買い物事情も課題になっている。

委員：1歳半健診に長期にわたり従事している。来られる方の書類を見ると、保護者が多忙のせいもあって、寝る時間が21時、22時になっている世帯もある。歯の衛生面に関して保護者の意識が高く、よく質問を受ける。地域の歯科医師とも連携をとっていきましょうと話をしている。

委員：最近消防車が走っているのをよく見かけるが、火災が多い原因がわかれば教えていただきたい。

下京区、南区、東山区は連携部分も多い。独居高齢者の意識として、かまっていなくてもいい人も多い。以前に比べて意識の部分も変化しているように感じる。そのような中、訪問での安否確認は大変だと思う。家の中で体の動きを検知するようなものが新しくできているので、テクノロジーを駆使した安否確認の方法も検討のひとつだと思う。

また、健康な高齢者はどのようなことをしているのか、というアピールの方法をしても良いと思った。

○その他 令和6年度の改選について

⇒ 事務局 桂川健康長寿推進課長から説明